



すぎさん

<http://www.suginami-school.ed.jp/sugi3shou/>

令和3年 10月号
杉並区立杉並第三小学校
〒166-0003 杉並区高円寺南 1-15-13
TEL 03-3314-1564
FAX 03-3314-1449

「探究」に浸った夏休み…。

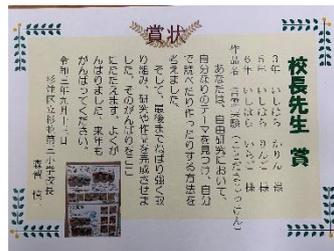
校長 森賀 慎一

長いようで短かった夏休みが、あっという間に終わり、2学期が始まって1ヶ月が過ぎました。緊急事態宣言の延長も、予定通り9月いっぱいまで終了するようですが、10月も引き続き感染症対策に力を入れながらの学校生活になります。

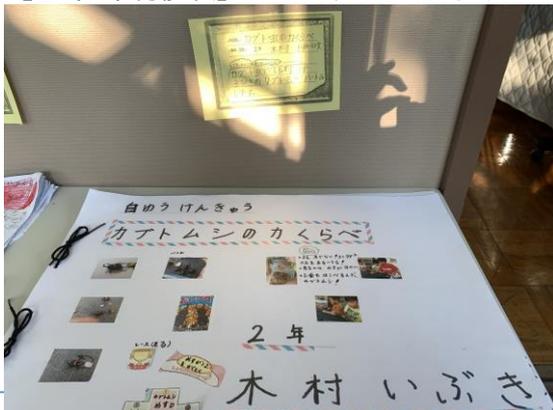
さて、学校だよりの夏休み号に「探究に浸る夏休みに…」というタイトルで、自由研究へのメッセージを書かせていただきました。読み返してみると、小学校4年生の我が息子に寄り添い、息子の興味・関心を掘り起こし、究極の探究学習に取り組む…というような内容が書かれていました。夏休みに入った当初の子どもと同じで、その時はやる気満々だったのだけど、実際は…というダメダメなパターンを体現してしまいました。偉そうなことを書いてしまい、恥ずかしさと申し訳なさでいっぱいです。我が息子は一応興味をもっている料理に関連して、給食のメニューを作ってみるというテーマでいくつか作り、家族に食べさせ、感想を聞いてまとめるというようなことをしていたようです。しかし私は1つも食べていなくて、貢献度ゼロという悲しい結果でした。

しかし新学期が始まり、杉三小の子どもたちの自由研究を見て回ると、子どもたちの力のこもった研究や作品がたくさん見られ、元気をもらいました。一人一人の作品をじっくりと見せてもらった上で、校長先生賞というものを勝手に作り、賞状を用意し、朝会で表彰させていただきました。

紙面に限りがありますが、いくつかの自由研究を紹介させていただきます。



【2年 木村伊吹】《カブトムシの力くらべ》



この研究は、まずカブトムシを捕まえるところからスタートします。様々な工夫や苦勞をしながら数匹のカブトムシを捕まえていました。そして飼育方法を調べ、飼っていく中で脱走事件を経験し、夜行性であることを学んでいました。いよいよメインの力くらべでは、小銭を糸でつなぎ引っ張らせたり直接バトルをさせたりします。次にわかったことや感想、今後に生かすことまで書かれています。最後に、参考にしたウェブサイトとお世話になった人もちゃんと載っていました。カブトムシに対する興味とこの研究を進めるにあたっていろいろ考えたことも分かるまさに「力作」だと感心しました。

【4年 吉村厘太郎】 《身近な植物の葉の汁の研究》



この研究は、「スイゼンシナ」のおひたしを食べたことがきっかけだったようです。近所の雑草を探して集めていました。その数なんと14種類。それを煮て、煮汁にレモン汁や重曹をかけて色の变化を調べたり、リトマス試験紙で特性を調べたりしていました。

その他にも素晴らしい力作がたくさんありました。どれにも共通しているのが、子どもたちの興味・関心を大事にしながら、意欲が継続するように、保護者の皆さんが上手にサポートしてあげていたのではないかとことです。放っておくだけで主体的な探究に取り組む子もいるでしょうが、多くの子は大人の手助けが効果的だと思います。学校でもその辺りを大事にしながら、子どもたちが主体となった学習を進めていきたいと考えています。

10月9日(土)には、運動会が行われます。現在校庭や体育館では、子どもたちが熱心に練習に取り組む姿が見られます。感染症対策にご協力いただきながらの参観になり、ご不便をおかけすることになるかもしれません。どうぞご理解・ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。